

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

令和7年7月18日

住 所 愛媛県松山市三番町4-12-4
企業名 大同生命保険株式会社 松山支社
代表者 支社長 安藤 洋介

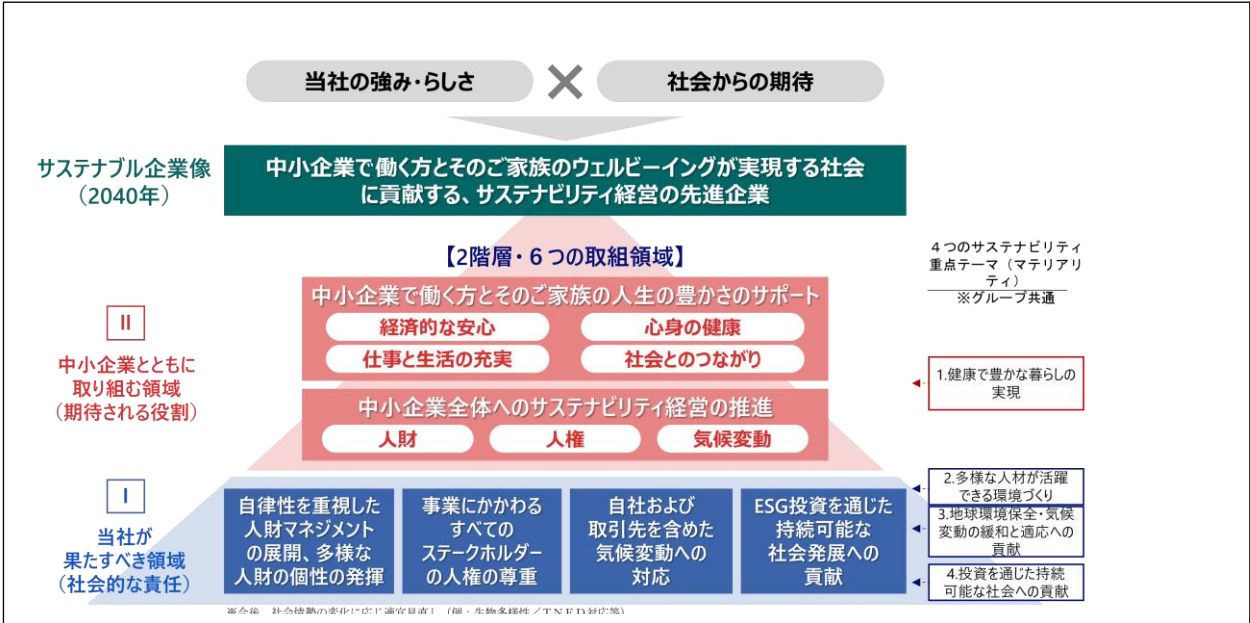
当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

これまで中小企業とともに歩みを進めてきた当社が、自ら社会的な責任を果たしつつ、中小企業とともに社会課題の解決に取り組んでいくことを明確化するため、当社におけるサステナビリティ経営の基礎となる「サステナビリティ推進計画」を2023年3月に策定し、当計画に基づき取組みを進めています。

〔サステナビリティ推進計画〕



側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組み	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R5年6月5日
環境 社会 経済	・中小企業で働く方とご家族の 人生の豊かさのサポート ・中小企業全体へのサステナビリティ 経営の推進	・中小企業を取り巻く社会環境 やニーズの変化を捉えた商品・ サービスの提供を通じ、中小企 業の課題解決に伴走	・中小企業の課題解決に向け、健 康支援・経営支援を目的とした 「健康エール割(優良体割引特約)」 や、「人材採用・育成支援サ ービス」「どうだい？」等のサ ービスを提供。また、中小企業向けに

			「サステナビリティ経営実践ガイド」を作成・提供。
環境 社会 経済	- 自律性を重視した人財マネジメントの展開、多様な人財の個性の発揮 - 事業にかかわるすべてのステークホルダーの人権の尊重	- 従業員満足度 2025年度までに4.00pt以上 - プレゼンティーイズム 2025年度までに80%以上 - 女性管理職比率 2025年度までに25%以上 - 男性育児休業取得率 2025年度までに100% - 人権デューデリジェンス実施率(取引先を含む)2025年度までに100%	- 育児休業等の「両立支援制度」の整備に加え、在宅勤務の活用、労働時間の縮減、有給休暇の取得促進等を通じワーク・ライフ・バランスを推進 - 経営トップの健康経営宣言のもと、従業員の健康増進を図る各種取組みを推進 ⇒従業員満足度 4.02pt (2025年1月) ⇒プレゼンティーイズム 77.2% (2025年4月) ⇒男性育児休業取得率 100% (2024年度) - 女性の活躍推進のため、女性のキャリア支援や管理職候補の育成等に取り組み ⇒女性管理職比率 25.6% (2025年4月) - 人権デューデリジェンスを実施し、是正を要する人権課題が発生していないことを確認 ⇒人権デューデリジェンス実施率 100% (2024年度)
環境 社会 経済	- 自社および取引先を含めた気候変動への対応 - ESG 投資を通じた持続可能な社会発展への貢献	- 自社の使用電力の再生エネルギー化 2030年度までに60% - 自社のCO2排出量(2013年度比) 2025年度までに40%削減 2030年度までに70%削減 - 投融資先のCO2排出量(2020年度比) 2030年度までに50%削減	- 東京本社、大阪本社をはじめとする7物件にて、再生可能エネルギーを導入 ⇒自社使用電力の再生可能エネルギー化 30.6% (2024年度) - 節電や使用電力の再生可能エネルギー化等を進め、自社CO2排出量を削減 ⇒2013年度 57.6%削減 (2024年度) - 気候変動テーマ型投融資やCO2排出量が多い投融資先企業とのエンゲージメント等を継続 ⇒投融資先のCO2排出量2020年度比で44.2%削減(2024年度)

【記載留意点】

- 上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- 指標は、原則として数値目標を記載してください。
- 「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- 重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。